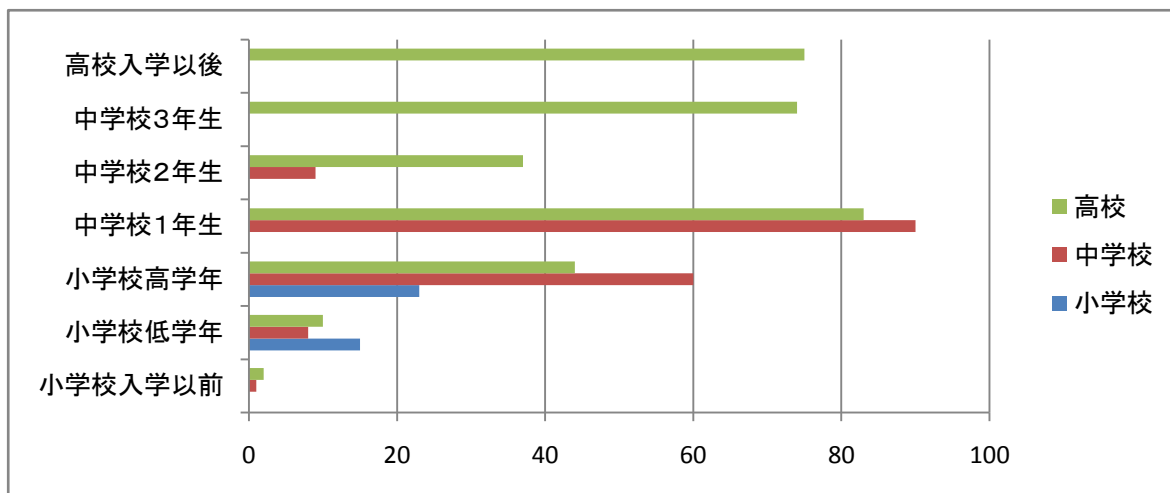


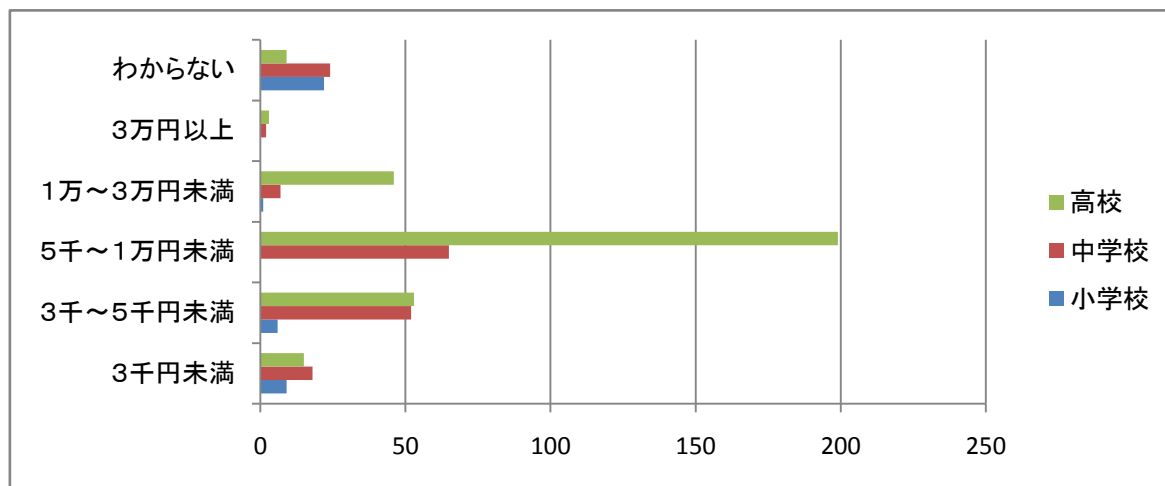
【設問2】携帯電話を持ったのはいつ頃ですか？



<分析および考察>

・小学5年生では、所有開始時期は高学年になってからが多い。中学2年生では、小学校卒業期から中学校入学期に所有するケースが多く、また、高校2年生でも、中学校の入学期や卒業期、高校への入学期に多く所有する傾向が見られる。中学生の保護者向けのアンケート結果からも、中学校入学を契機に中学校1年生時に携帯電話を持たせている割合が高い。最近の傾向としては、携帯電話所有(保護者が持たせている)の低年齢化が一層進んでいる。

【設問3】1ヶ月の携帯電話使用料は平均いくらですか？



<分析および考察>

・全体的には、1万円未満での使用状況が多く、特に高校2年生では5千～1万円未満が61.2%と高くなっている。過去の県教委の調査では、1万円未満の使用状況は小学生で49.2%、中学生で74.3%、高校生で77.7%であった。今回の調査では、1万円未満の使用状況は小学5年生で39.5%（ほとんどが5千円未満）、中学2年生で80.3%、高校2年生で82.1%であった。全体的に1万円以上の使用状況は減少傾向にある。小学生では、「わからない」と答えた割合が57.9%あり、これは小学生では保護者が意図的に携帯電話を持たせている実態があり、使用料等については保護者が管理しているケースがほとんどであると考えられる。中学生や高校生で1万円以上の使用が減少傾向にあるのは、各販売業者間での利用者獲得をめざしたサービス向上や料金体系の変更等により安価で割安なシステムが普及した結果とみることもできる。ただ、中学生や高校生の中には、3万円以上の使用料を支払っているケースもみられた。使用料は減少しているが、機能の多様化もすすみ使用頻度は増加していると考えられる。